人体に向けたエアブローは危険

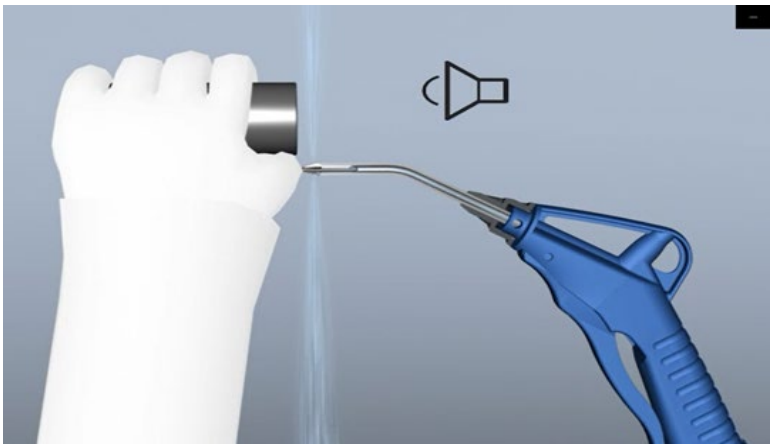
衣服の清掃を目的に作業者が自身に向けてエアブローをする行為は非常に危険です！
この行為により、作業者の血流内に圧縮空気が入り込み、血栓を引き起こす可能性があるからです。

圧縮空気の気泡が血流を阻害します。

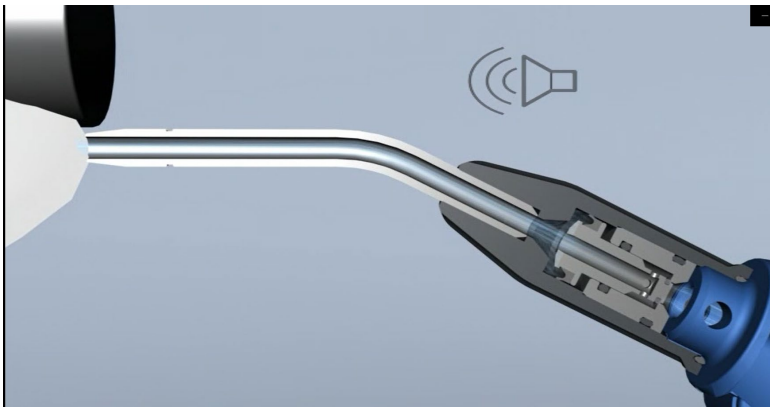
そのため、**OSHA（米国労働安全衛生局）**ではノズルの先端が塞がれる状態になった際に、圧縮空気の圧力が**0.2MPa(2bar)**を超えてはならないと規定されています。

セインのOSHA規格に準拠したブローガン/アクセサリー

閉塞状態が生じた際も既定の圧力(0.2MPa)を超えない安全設計



スターチップノズル：
ノズル先端が6分割されており、
エアが外部に逃げていく構造



レギュレーター付ノズル：
逆止弁を内蔵しており、弁が閉じ
減圧する構造